

令和4年度

海上保安庁関係補正予算（第2次）配分概要

目 次

I. 令和4年度海上保安庁関係補正予算（第2次）配分方針	1
II. 令和4年度補正予算配分総括表	1
III. 事業別概要	2
IV. 管区海上保安本部等別等配分額	3
V. 配分箇所の具体事例	4

令和4年12月

I. 令和4年度海上保安庁関係補正予算（第2次）配分方針

令和4年度船舶交通安全基盤整備事業補正予算については、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」（令和4年10月28日閣議決定）に基づき、戦略的海上保安体制の強化等及び防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の推進事業に配分する。

II. 令和4年度補正予算配分総括表

【総事業費】

（単位：百万円）

区 分	防災・減災、国土強靱化の推進、外交・安全保障環境の変化への対応など、国民の安全・安心の確保	防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策	追加財政需要	合 計
	本省配分	本省配分	本省配分	
船舶交通安全基盤整備事業	5,897	2,806	941	6,839
直轄	5,897	2,806	941	6,839

※ 端数処理の関係で、合計は必ずしも一致しない。

※ 追加財政需要には、海上保安業務遂行に必要な不可欠な燃料費増嵩分に係る配分がある。

○戦略的海上保安体制の強化等

【巡視船等基地の整備】

巡視船等が安定的に係留する棧橋を整備する。



【巡視艇等の代替整備】

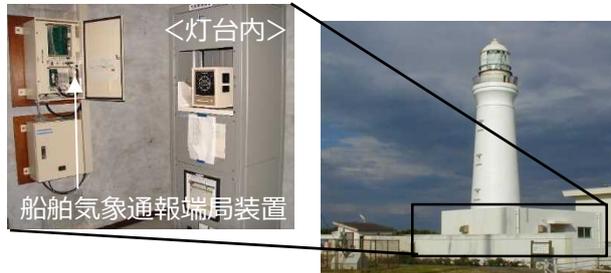
老朽化した巡視艇等を代替整備する。



※イメージ

【航路標識の維持管理等】

灯台などに設置している船舶気象通報端局装置を換装する。



【原油価格高騰に伴う燃料費の確保】

船艇の運航に必要な燃料費を確保する。

○防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の推進

【走錨事故等防止対策】

臨海部施設周辺海域、特定港及び船舶がふくそうする海域等に監視カメラやレーダーを設置し、海域監視体制の強化を図り走錨等に起因する重大事故を未然に防止する。



監視カメラの整備



レーダーの整備

【航路標識の老朽化等対策】

航路標識の倒壊、損壊等の被害に対応するため、長寿命化のための整備を着実に実施し、航路標識の老朽化対策を図る。



外壁補修



防水工事

【航路標識の耐災害性強化対策】

航路標識の耐災害性強化を図り、船舶交通の安全を確保するための対策を講じる。

<海水浸入防止対策>



基礎部亀裂補修
(環境遮断)

<電源喪失対策>



太陽電池化



蓄電池の増設

<信頼性向上対策>



耐波浪型LED灯器等の整備

<監視体制強化対策>



クラウド監視装置の導入

IV. 管区海上保安本部等別配分額

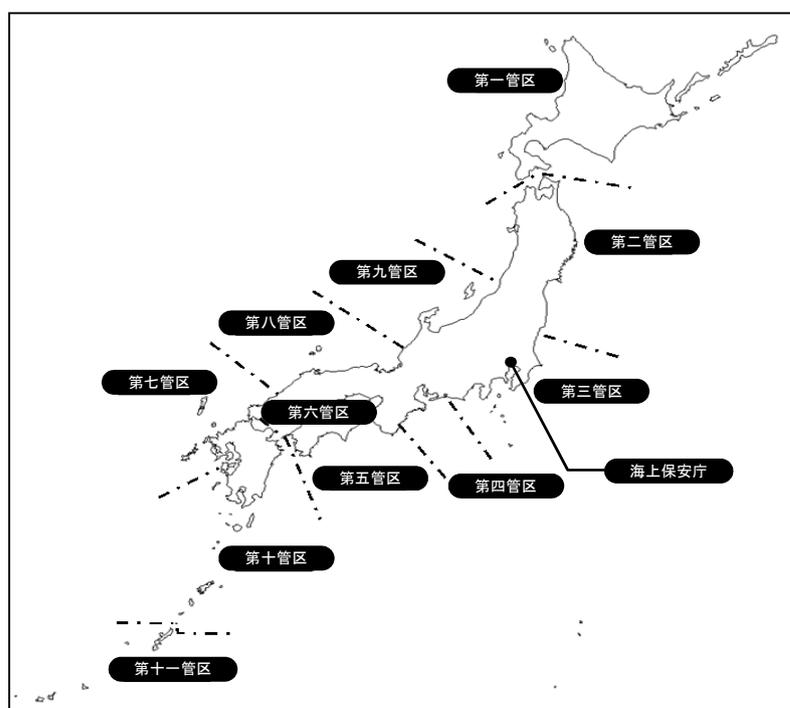
[直轄事業]

(単位：百万円)

区 分	事業箇所数	船舶交通安全基盤整備事業	
			防災・減災、国土強靱化のための5 か年加速化対策
海上保安庁	0	1,125	0
第一管区海上保安本部	18	407	328
第二管区海上保安本部	17	745	333
第三管区海上保安本部	19	399	236
第四管区海上保安本部	8	348	280
第五管区海上保安本部	12	370	208
第六管区海上保安本部	10	276	37
第七管区海上保安本部	21	1,197	919
第八管区海上保安本部	9	66	11
第九管区海上保安本部	12	125	55
第十管区海上保安本部	16	1,620	290
第十一管区海上保安本部	7	160	109
合 計	149	6,839	2,806

※維持管理費については、事業箇所に計上していない。

※端数処理の関係で、合計額は必ずしも一致しない。



V. 配分箇所の具体事例

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
鹿児島県 (鹿児島市)	鹿児島港船舶交通 安全基盤整備事業	百万円 1,250	尖閣領海警備体制の強化と大規模事案の同時発生に対応できる体制の強化として、鹿児島港へ大型巡視船を配備することから、安定的に係留できる棧橋を整備する。
北海道 (苫小牧市)	苫小牧港船舶交通 安全基盤整備事業	255	激甚化・頻発化する自然災害に対応するため、航路標識の耐災害性強化対策（信頼性向上対策）などを推進し、船舶交通の安全確保を図る。